



広報 なかわだ

第428号

2015年12月6日

2015年12月

中和田カトリック教会
広報委員会

泉区中田北1丁目9-1 Tel. (045) 803-6141

<http://nakawada-catholic.com>

地に平和、み心の思いは代々としえに

教会副委員長 岩崎 好愛

イエス様ご降誕の日が近づいてきました。十字架への道を歩まれるイエス様とそこへ復活を通して人々に罪の赦しと永遠のいのちへの希望をお示しになるために、神様がお遣わしになった御子をお迎えするにあたり、慈しみ深い神様の思いに心をめぐらせてみました。

ある時、私が習字の練習をしていると孫娘が寄って来て、自分も書いてみたいと言い出しました。その時半紙と筆を持たせた彼女が書いた言葉がすてきでした。それは川崎洋という詩人が書いた『いっぴきでもてんとうむしだよ。／ちいさくてもぞうさんとおなじいのちをもっている。／ぼくをみつけたら、こんにちわっていいね。／そしたら、ぼくもてんとうむしのことばで、こんにちわっていいから。／きみにはきこえないけど……。』という詩でした。

「この詩、どうしたの?」「教科書にあるよ。大好きなの。だって、てんとう虫さんはすごく小さいのに、大きな象さんと同じいのちをもっているというところがすばらしいと思うの」という孫の感性に感動。

いま、世の中では、弱い者への差別や力による排除などを、あまりにも多く見聞きするようになりました。力を誇示する傾向の現れでしょうか。自分の弱さを力でカモフラージュしようとする意気地なさでしょうか。

耳を澄ますと、大きな力の下で静かに苦しみに耐えているてんとう虫たちの小さいいのちの叫びや願いの声が聞こえてきます。その声は、身の回りから、社会の片隅から、そして世界のあちこちから聞こえてきます。同じいのちを頂いている人間同士として、互いに愛する心を持たなければならないのに、愛する対象が自己や自分の国だけに向いたとき、その自己愛を守るために、歪んだ力を使わざるを得なくなるのではないのでしょうか。それが大きくは最近の空爆とテロの応酬、そして身近での差別や排除。

生きとし生けるものはみな神様からいただいた同じいのちと尊厳を持っているのだという、初めに書いた詩が教えていることの大前提が、人々の中にいつも生き続けていたら、平和は自ずと保たれ、それが神様がお望みになっているほんとうの地上における神の国なのではないのでしょうか。クリスマスを迎えるにあたり、神様のみ心が地上に実現することを切に願い、その為に私たちに何が出来るのかを祈り求めていきたいと思います。

日	曜	典 礼 (ミ サ)	備 考	そ の 他
2	水			聖書の会 (10:00)
3	木	祝日ミサ (9:30)	聖フランシスコ・ザベリオ [祝]	
4	金	初金ミサ (9:30)		
6	日	主日ミサ (9:00)	待降節第2主日 (マリオ・バラエロ神父様司式)	
7	月	祭日ミサ (18:00)	無原罪の聖マリア [祭]	
8	火			神父様出発～17日迄 「いつくしみの大聖年」の開年
12	土			教会委員会
13	日	主日ミサ (9:00)	待降節第3主日 (内藤聡神父様司式)	ミサ後、講話とゆるしの秘跡
18	金	週日ミサ (9:30)		
20	日	主日ミサ (9:00)	待降節第4主日	大掃除
24	木	祭日ミサ (19:00)	降誕祭 (夜半)	要理学校の出しもの (18:30)
25	金	祭日ミサ (10:00)	降誕祭 (昼間)	ミサ後サロン
27	日	主日ミサ (9:00)	聖家族 [祝] 子どもと共に捧げるミサ	

教会ごよみ (十二月)

～ ホームレス支援 ～

「イエス様のため」

－ 飢えている人に食べさせ、裸の人に着せ －



12年前関内でホームレス支援を始めて以来、中心となって活動が続けてこられたフィリピン出身女性ガーリーさんにお話を伺いました。

▲フィリピンは熱心なカトリック信者が多いそうですが、子供の頃のことをお聞かせください。

⇒学校ではシスターたちに「朝学校に行く前に必ずチャペルに寄って、あなたたちを待っておられるイエス様に挨拶しなさい。人に言えない悩みもイエス様は全て分かってくさるから」そして「いつも人に親切にしなさい。それはイエス様にしたことになるのですよ」と教えられました。

ある時期から家庭の事情で経済的に苦しくなり、祖母から食べ物を買うお金をもらうようになりました。家があったマニラはストリートチルドレンが溢れていて、食べ物を買っても一人で食べるのは後ろめたく、その子たちに分け与えていました。それを知った祖母には叱られ、それ以来食べ物を買うお金はもらえなくなりました。縁あって来日した後、祖母の訃報がありました。祖母は最期に「ガーリーみたいに貧しい子供たちに食べ物を分け与えれば良かった」と言ったそうです。

▲関内でホームレス支援をするようになったきっかけをお話ください。

⇒初めて日本でホームレスを見たのは家族と焼き肉を食べに行くためJR関内の地下道を通った時でした。地下道の両側に何十人ものホームレスが横たわっているのを見て衝撃を受け、胸に刃物を突き付けられたような痛みを感じました。次にそこを通ったのは生活費が千円しか残っていない中、お弁当を買って帰る時でした。帰ったら食べるものはなかったのですが、お弁当をあげずにはいられませんでした。そしてお弁当をあげた途端、胸の奥にあった痛みが一瞬で取り去られたような喜びで心が震え、これこそイエス様が私に望んでおられることだと確信しました。最初は一人で三十人分カレーライスを作りましたが足りませんでした。近所の外交官の奥さんが山手教会でチャリティをしてくださったり、米軍厚木基地の神父様が運搬用の車を貸してくださったりと、活動が軌道に乗り出し、更に友人、バーク神父様、戸塚教会、原宿教会、中和田教会と支援が広がってきました。わずかししか持っていない私でしたが、神様が呼び集めてくださったのですね。

▲今後どのような支援が必要だとお考えですか？

⇒金曜日の午前中は西新井のマザーテレサ修道院のシスターたちと荒川沿いの草むらに住んでいるホームレスのパトロールを行っています。川のすぐ側は冬になると寒さが厳しくなります。どうか皆様、使わなくなった毛布、防寒着などあったらご寄付ください。「愛と慈しみのあるところに神はおられます」クリスマスプレゼントを通してイエス様の愛を届けませんか？

▲インタビューを終えて

⇒10月12日午後6時より大船教会にてバーク神父様が関内ホームレス支援12年を記念してミサを挙げてくださいました。戸塚教会の方々を初め総勢30～40名が集まりました。これほど多くの方々がホームレス支援に関わってきたからこそ12年も継続できたのだと思いました。中和田教会はお手伝いを始めてこの冬で2年になります。今後も長く支援を続けていくためにお手伝いの方を必要としています。関心のある方は福祉の方にお声かけください。

(広報 G 今井 暁子)

[建物、営繕] からのお知らせ

この度、水道管のトラブルが立て続けに3件発生しました。

1件目は、水道料金の請求額が異常に高額になっていた事で発覚した新集会室付近で起きた漏水の事案。

次に神父様居住区内及び聖具室内洗面台の排水管の劣化による水漏れでした。

中和田教会も築後約40年が経過し、この他にも今後様々な問題が発生する事が考えられます。

8月より「教会建物の将来を考える」会が発足しました。建て替え案も含め、教会の将来像について具体的なより良い結論を1年後に得る事を目指しています。

(営繕 G 五十嵐 誠)

元気で健やかに成長されますように！（11月8日 七五三祝福）

大宮みのりちゃん、章裕くんが七五三の祝福をいただきました。



三教会合同ミサ

11月15日（日）11時より原宿教会にて戸塚、原宿、中和田教会の合同ミサがありました。前日から生憎の雨で野外ミサは実現できませんでしたが、当教会からはお子さんも含め21名参加しました。ミサの中では七五三のお祝いもあり7名のお子さんが祝福されました。当教会の大宮みのりちゃん7才、名前を呼ばれると可愛い声で「はい」と返事をする弟章裕くん3才もいました。フランシスコ会の小西神父様が子供たちに向け、家族とは「命を育む場」、「許される場」、「イエス様が中心となって一つになる場」であると分かり易くお話してくださいました。

聖歌隊の美しいハーモニーに癒され三教会が一つになって平和を願う祈りを捧げ、ミサ後の昼食会では他教会の神父様や皆様と交わる機会を頂き、感謝と喜びのうちに解散しました。準備して下さった関係者の皆様方にお礼申し上げます。

（広報G）



＜第24回湘南キリスト教セミナー＞

「地球はわたしたち皆の家」～環境問題と貧困問題

11月7日（土）に中和田教会で、名古屋市にある神言修道会の暮林 響神父様の講演会が開かれました。神父様は、24歳で教皇様の出身国であるアルゼンチンに赴き、貧しい地方で修道生活を体験されました。外国語や音楽にも堪能で、明るくパワフルな方です。参加者は124名で、お御堂に座れない人が出るほどの盛況でした。

はじめに、「教皇様はどんな人？」と教皇様の人柄を紹介されました。「羊の匂いのする羊飼いになりなさい！」などの名言、ご自身が清貧さを追求されながら生きる生き方、幅広いご活躍のお姿などを、パソコンの映像も使いながら、紹介して下さいました。

講演は、教皇様の最近執筆された「社会教説に関する回勅（間もなく日本語で出版の予定）」の内容を紹介するという形で進められました。

先進国においては「地球環境問題」と「エコロジー」はブーム化し、一般的にも受け入れられ、商業化さえされ、進歩していると言える。しかし、私たちの共通の家である地球は、相変わらず、空気や水の汚染、気候変動、生物多様性の崩壊などの深刻な挑戦を受け続けている。この危機には「基礎的倫理の無い利潤追求の技術進歩」「人間中心主義」などの根深い原因がある。世界の貧しい人々の多くは、温暖化に関連した自然現象をとくに受けやすい場所に住んでいる。自然環境悪化のために悲惨な難民になる人々も少なくない。こうした貧しい人々から目をそむけた技術・経済の発展は進歩ではない。

「解決の糸口」はある。それは「神様はすべての被造物に心をかけている」という福音の中にあり、また「統合的エコロジーの理解」「エコロジー教育」などを「霊性をもって」進める努力にある……。最後に、ご自身作曲の歌を歌いながら講演を閉じられました。

この講演を通して私は、間もなく日本語版で出版される教皇様の「社会教説に関する回勅」を読み、「統合的エコロジー」などの意味をよく理解し、被造物や貧しい人々を環境問題から守る活動に生かして行きたいと思いました。

（広報G 滝川 清一）



委員会だより

(文中敬称略)

△11月8日(日) 12名出席▽

■日野神父様のお話

今日の11月8日は、濱尾文郎司教様の命日にあたります。濱尾司教様は、日本で初めて、バチカンで大臣になられた方です。

■各グループからの報告

●典礼(小野(雅))

・11月～12月の典礼暦の確認。
・12月6日の主日ミサは、片瀬教会のマリオ神父様が司式される。
・12月13日の主日ミサは内藤聡神父様が司式され、その後講話、ゆるしの秘跡が行われる。

・11月15日11時より、3教会合同ミサ(含む七五三祝福で、当教会の該当者は2名)が行われる。参加者は、弁当・飲み物・名札を持参のこと。
・新しい「ローマ・ミサ典礼書の総則」に基づく変更については、11月22日のお知らせの時間に、要約して説明する。

・戸塚・原宿教会からの提案で来年秋に合同堅信式をしたらどうかという提案があったがどうか。

↓該当者がいれば行う。

●財務(甲斐)

・一般会計、建設会計、愛の献金の各月次報告が行われた。
・来年度から、一般会計の繰越金の中から何がしかの金額を建設会計に入れることを信徒大会で提案後、実行

する。

●要理(裕)

・クリスマスの聖劇の検討をしている。
・いもほりは、楽しかった。

・初聖体の勉強は、今月から始める。

●福祉(楠田)

・ホームレス支援のための色々な寄付(お米、歯ブラシ等)を届けた。
・バザーの残品とあわせて、これから毛布を送るので呼びかけたい。

・東京のマザー・テレサの活動の一環として、荒川のホームレスの方々のために、冬物の布団、毛布、防寒着をとどけたいので、呼びかけたい。

●建物を考える会・営繕(五十嵐)

・今回、水道管関係で度々漏水がおきて修理した。
・神父様の洗面台の漏水の修理を行った。
・香部屋の手洗いのパイプに穴があいて、修理した。

・12月20日(日)に大掃除を行う。

・事務室のエアコンの具合が悪いので、調べてみる。

・消火器の取り替え等は、調べてから対処する。

●広報(武田)

・原稿依頼(締切11月25日)

●総務(上野)

・12月のホワイトボード確認。

●行事(石井(洋))

・クリスマスは、12月24日のミサ後に

子ども達にお菓子を配る。

●信徒の会(今井)

・12月25日のクリスマスのミサ後、サロンを開く。

・11月29日(日)服部剛さんの朗読とお話会の後、雑誌「カトリック生活」「風」の販売に協力する。

●バザー委員会(小野(和))

・10月25日(日)のバザーは晴天に恵まれ、皆様のご協力で盛会に終わりました。ありがとうございました。
・次回のバザー委員会で反省会を行います。

■その他報告事項

・スケジュール確認(12月)

・地区集会の結果が報告された。

・月修資料が配布された。

・11月7日(土)の湘南キリスト教セミナーは、無事に終わった。大勢のお客様が来られて、大変良いお話を伺った。

■討議事項

・11月15日(日)の3教会合同ミサについては、交通手段や持ち物等について、連絡網で流す予定。
・教会の鍵の扱いについては、良い方法を検討する。

・12月6日(日)のマリオ神父様と13日(日)内藤神父様のごミサの後の昼食は確かめてから、対処する。

・神父様の御留守中の当番表を作るので、ご協力をお願いします。以上

(次回委員会12月12日)



2015年12月21日(月)
14:30~16:30
(開場 14:00)

会場：泉公会堂 入場無料
(整理券必要 担当 内藤)
主催：泉区民クリスマス実行委員会

